

1985 年

和漢診療部

Department of Japanese Oriental Medicine

助教授	寺澤捷年	Katsutoshi Terasawa
助手	土佐寛順	Hiroyori Tosa
助手	檜山幸孝	Yukitaka Hiyama

◆ 著 書

- 1) Kumagai A., Terasawa K: The scientific identification of Kampo 'SHO' in herbal medicine: KAMPO, Past and present, by Taro Takemi, et al. (Ed): 66-67, TSUMURA JUNTENDO, INC, 1985.
- 2) 寺澤捷年：循環器疾患の漢方治療。循環器内科治療ハンドブック，稲垣義明，他編，169-176，南山堂，1985。
- 3) 寺澤捷年：神経系。臨床医の漢方治療指針，長谷川弥人，他編，319-356，メジカルビュー社，1985。
- 4) 寺澤捷年：日本の現代医療における中国伝統医学の役割。今日のアジア伝統医学，織田敏次，他編，Excerpta Medica, 32-38, 1985.
- 5) 寺澤捷年：現代の漢方治療。大塚恭男，鍋谷欣市，有地 滋，寺澤捷年編，288-315，東洋学術出版社，1985。
- 6) 寺澤捷年訳：神経内科治療マニュアル。Martin A. Samuels 編，17-34，327-384，メディカル・サイエンス・インターナショナル，1985。

◆ 原 著

- 1) ☆Tokunaga A., Sugita S., Otani K., Terasawa K.: Quantitative morphological changes in the superior colliculus and the parabigeminal nucleus in the bilaterally microphthalmic rat. Dev. Brain Res., 23: 131-140, 1985.
- 2) ☆Sugita S., Tokunaga A., Otani K., Terasawa K.: Ascending projections to the lateral thalamic nuclei from the substantia grisea centralis in the rat: a retrograde WGA-HRP study. Neurosci. Res., 2: 189-199, 1985.
- 3) ☆Terasawa K., Toriizuka K., Bando M., Imadaya A., Tosa H.: Effects of medicinal plants on the metabolism of platelet arachidonic acid. J. Med. Pharm. Soc. WAKAN-YAKU, 2: 310-316, 1985.
- 4) ☆Terasawa K., Imadaya A.: Therapeutic effect of Sino-Japanese (Kampoh) medicine on rheumatoid arthritis. J. Med. Pharm. Soc. WAKAN-YAKU, 2: 439-445, 1985.
- 5) ☆Sugita S., Otani K., Tokunaga A., Terasawa K.: Distribution of the tectothalamic projection neurons in the hereditary microphthalmic rat. Exp. Brain Res., 60: 564-575, 1985.
- 6) ☆Terasawa K., Imadaya A., Tosa H., Mitsuma T., Toriizuka K., Takeda K., Mikage M., Hattori

## 1985 年

M., Namba T.: Chemical and clinical evaluation of crude drugs derived from *Angelica acutilobae* and *sinensis*. *Fitoterapia*, 56: 201-208, 1985.

7) ☆鳥居塚和生, 寺澤捷年, 本間精一, 足立伊左雄, 中川輝昭, 堀越 勇: 桂枝茯苓丸の製剤学的検討. 煎剤および丸剤の成分比較. *日本東洋医学雑誌*, 35: 185-189, 1985.

8) ☆寺澤捷年, 土佐寛順, 坂東みゆ紀, 今田屋章, 檜山幸孝: 胃内停水の研究 (第 2 報). *日本東洋医学雑誌*, 36: 1-6, 1985.

### ◆ 症例報告

1) ☆Terasawa K., Tosa H.: A case of chronic hepatitis with development of carcinoma of gall bladder observed during treatment with traditional Chinese medicine. *Jpn. J. Orient. Med.*, 36: 101-106, 1985.

2) ☆今田屋章, 寺澤捷年: 白通湯が奏効した水瀉性下痢の一例. *日本東洋医学雑誌*, 35: 273-278, 1985.

### ◆ 総 説

1) ☆寺澤捷年: 関節痛. *内科*, 56: 893-895, 1985.

2) ☆寺澤捷年, 熊谷 朗: 喘息治療と和漢方剤. *Pharma Medica*, 3: 67-72, 1985.

3) ☆寺澤捷年: 喘息の治療. 漢方薬による治療. *現代医療*, 17: 2226-2231, 1985.

4) ☆寺澤捷年: 血小板アラキドン酸代謝に及ぼす和漢薬の効果. 血小板凝集能 MDA 値の変動. *Therapeutic Research*, 2: 1055-1061, 1985.

5) ☆寺澤捷年: 慢性関節リウマチの和漢薬による治療. *Therapeutic Research*, 3: 552-554, 1985.

6) ☆寺澤捷年: めまい・平衡障害と和漢薬治療. *Equilibrium Res.*, 44: 14-22, 1985.

### ◆ 学会報告

1) Terasawa K., Mitsuma T., Tosa H., Oura H., Yokozawa T.: Rhubarb therapy in patients with chronic renal failure. *The 4th International Congress of Oriental Medicine*, 1985, 10, Kyoto.

2) 寺澤捷年: 不定愁訴症候群の臨床比較試験に関する研究. 証, 経穴の科学的実証及び生薬資源の確保に関する研究シンポジウム, 科学技術庁, 1985, 10, 東京.

3) 横澤隆子, 鈴木奈緒美, 鄭平東, 奥田伊津子, 大浦彦吉, 三瀨忠道, 寺澤捷年: 大黄並びに大黄含有漢方剤による慢性腎不全の改善作用. 第 22 回日本臨床代謝学会総会, 1985, 2, 東京.

4) 檜山幸孝, 寺澤捷年, 土佐寛順, 布施信三, 城石平一: 足趾潰瘍をみたアルコール性多発性神経炎の 1 症例. 第 137 回日本内科学会・第 129 回東海北陸合同地方会, 1985, 11, 名古屋.

5) 城石平一, 寺澤捷年, 三瀨忠道, 檜山幸孝, 三輪淳夫: RA に続発したアミロイドー

## 1985 年

シスの 2 症例. 第 137 回日本内科学会・第 129 回東海北陸合同地方会, 1985, 11, 名古屋.

6) 島田多佳志, 三瀨忠道, 平林多津司, 高橋宏三, 檜山幸孝, 土佐寛順, 寺澤捷年, 今田屋章: 視神経炎を伴ったシェーグレン症候群の 3 例. 第 126 回日本内科学会北陸地方会, 1985, 3, 金沢.

7) 城石平一, 霜田ふゆみ, 檜山幸孝, 土佐寛順, 寺澤捷年: 低 Mg 血症による低 Ca 血症性テタニーを呈した続発性アミロイドーシスの 1 例. 第 7 回北陸骨 Ca 代謝談話会, 1985, 11, 金沢.

8) 今田屋章, 黒田 惇, 金木美智子, 寺澤捷年, 土佐寛順, 三瀨忠道: 膠原病に対する和漢薬治療の意義. 第 36 回日本東洋医学会学術総会, 1985, 5, 東京.

9) 三瀨忠道, 土佐寛順, 伊藤 隆, 寺澤捷年, 今田屋章: 湯液における証と「電気温鍼」について. 第 36 回日本東洋医学会学術総会, 1985, 5, 東京.

10) 伊藤 隆, 三瀨忠道, 土佐寛順, 寺澤捷年: 気管支喘息に対する木防己湯の応用. 第 36 回日本東洋医学会学術総会, 1985, 5, 東京.

11) 鄭平東, 横澤隆子, 大浦彦吉, 寺澤捷年, 三瀨忠道: 慢性腎不全に対する漢方方剤温脾湯の改善作用. 第 2 回和漢医薬学会, 1985, 9, 京都.

12) 今田屋章, 寺澤捷年, 伊藤 隆: 伝統的和漢薬 (漢方) 治療による気管支喘息の治療. 第 4 回国際東洋医学会, 1985, 10, 京都.

13) 金岡又雄, 矢野三郎, 加藤弘己, 中田貴子, 川村和弘, 寺澤捷年, 坂東みゆ紀: 和漢薬の生理活性成分の酵素免疫測定法の研究グリチルレチン酸の酵素免疫測定法について (2). 日本薬学会第 105 年会, 1985, 4, 金沢.

14) 寺澤捷年: 瘀血証の現代科学的研究. 和漢薬 (中薬) の医学薬学的研究に関する日中シンポジウム, 1985, 9, 富山.

15) 今田屋章, 黒田 惇, 鈴木美智子, 寺澤捷年, 土佐寛順: 富山県立中央病院和漢診療科を開設して. 1 年間の記録. 昭和 60 年度日本東洋医学会北陸支部学術総会, 1985, 11, 金沢.

16) 檜垣修一, 小西可南, 諸橋正昭, 寺澤捷年: 当科における和漢外来の現況. 第 5 報. 皮膚疾患と証との検討. 第 2 回和漢医薬学会, 1985, 9, 京都.

### ◆ その他

1) ☆寺澤捷年, 檜山幸孝: 難治生しびれ・疼痛に対する和漢薬治療の検討. 昭和 60 年度厚生省特別疾患スモン調査研究班研究業績集.

2) ☆坂東みゆ紀, 寺澤捷年, 金岡又雄, 矢野三郎, 加藤弘己, 平手純司, 堀越 勇: グリチルレチン酸の体内動態に関する研究. 和漢医薬学会誌, 2: 264-265, 1985.

3) ☆土佐寛順, 寺澤捷年, 檜山幸孝, 今田屋章: 漢方的腹候“心下痞鞭”と血中カテコールアミンとの関連について. 和漢医薬学会誌, 2: 656-657, 1985.

4) ☆坂東みゆ紀, 寺澤捷年, 土佐寛順, 金岡又雄, 平手純司: グリチルレチン酸の体内動

## 1985 年

- 態に関する研究Ⅱ. ラットにおける体内動態. 和漢医薬学会誌, 2: 536-537, 1985.
- 5) ☆鳥居塚和生, 寺澤捷年, 川尻ゆかり, 今田屋章, 三瀧忠道: 血小板アラキドン酸代謝におよぼす和漢薬の効果. 血小板凝集能と MDA 値の変動. 和漢医薬学会誌, 2: 236-237, 1985.
- 6) ☆寺澤捷年, 檜山幸孝, 土佐寛順, 渡辺裕司: 自律神経発作「奔豚気病」の病能解析. 和漢医薬学会誌, 2: 224-225, 1985.
- 7) ☆熊谷 朗, 大塚泰男, 寺澤捷年: 漢方の臨床・教育・研究. 21 世紀への医学と医療. 治療学, 15: 766-776, 1985.
- 8) ☆今田屋章: 痛みと漢方薬療法. Geriatric Medicine (老年医学), 23: 767-774, 1985.